

九月二十三日に行われ
ました小豆島坂手沖のキジハ
タ放流事業と体験航海に参
加して頂いた安田小学校の山
本君と泉君から作文が届き
ました。

驚きと資源の大切さを訴
えた力作が届きましたので皆
様に紹介させていただきます。

先生並びにご父兄の皆様に
は大変お世話になりました。
とうございました。

キジハタの放流

安田小学校三年

泉 諒空

ぼくは、はじめて海上保
安庁の船に乗りました。何
もかもがはじめてで、見る
もの全部がかっこよく思
いました。

船に乗ったら、運転せき

を見せてもらいました。む
ずかしそうなきかいがたく
さんありました。そして、
まわりの島や船がよく見え
る大きなぼうえんきようが
ありました。船の中には、
ぼくのきようみのあるもの
で一ぱいでした。

おきについていたら、いよ
よキジハタの放流でした。
バケツの中には、小さなキ
ジハタが十ぴきぐらい入っ
ていました。キジハタは、
小さくて、岩のような色を
していました。しっぽをパ
タパタさせて、とてもかわ
いかつたです。放流すると
きは、「大きくなったら、ぼ
くがつつてやるぞ。」と思
いながら、大切にゆつくりと
海にかえしました。
その後、船の中にある水
あつほうを見せてもらった

り、少しだけ運転させて
もらったりました。

それから、海上保安庁の
仕事の話も聞くことができ
ました。一番びっくりした
ことは、台風の時でも、け
がや病気の人を高松まで運
ぶことです。大きな波の中
でも進める海上保安庁の船
は、すごいと思いました。

こない体けんができ
て、ぼくはしあわせだと思
います。また、こんなき会
があつたら、さんかしたい
です。

初めてのキジハタ放流体験

安田小学校三年

山本 そうし

九月二十三日、巡視艇「き
よづき」に乗って、キジハ
タの放流体験をしました。
「きよづき」は思ったよ

り大きくて、きかいがたく
さんありました。船の中
は一階と二階にわかれてい
て、一階がしん室と食どう
になっていました。まるで
動く島のようにでした。でも
ぼくは、長時間、船で過ご
すのは大へんだと思いまし
た。

キジハタの放流体験では、
キジハタのよう魚を海にか
えしました。

「これからどうやって生
きていくのかな。」と思いな
がら放流しました。元気に
生きて、大きな魚になって、
坂手の海に帰ってきてほし
いと思いました。もし来年
もキジハタ放流体験があつ
たら、ぼくはまたさんかし
て、たくさんさんのキジハタを
海にかえしてあげたいです。